



原三溪を語る

入場
無料

明治150年にちなみ、明治から昭和にかけて活躍した原三溪に関する講演会を開催します。

平成30年6月30日(土)

14:00～15:30(入場13:50)

岐阜県図書館 1階 多目的ホール

先着300名(申込不要)

講師

ノンフィクション作家 新井恵美子氏

【講師プロフィール】

横浜市在住。1939年生。『雨ふり草』で随筆サンケイ賞受賞。

『サエ子とハマっ子』で横浜市福祉童話大賞受賞。

『モンテンルパの夜明け』で第15回潮賞ノンフィクション部門受賞。

2003年著書『原三溪物語』(神奈川新聞社)刊行。三溪園保勝会元理事。



原三溪

慶応 4(1868)年8月(9月改元 明治)

美濃国厚見郡佐波村(現 岐阜市柳津町)の庄屋青木久衛の長男富太郎として誕生。生母、琴は安八郡神戸村の日本画家高橋杏村の娘。

明治18(1885)年上京、東京専門学校に通う傍ら跡見女学校で歴史を教える。

明治24(1891)年横浜の生糸貿易商 原善三郎の孫娘原屋寿子と結婚入籍。濃尾大震災。

明治33(1900)年原商店を原合名会社に変革。

明治39(1906)年「三溪園」を市民に無料開放。

大正12(1924)年震災後横浜市復興会会長就任。

昭和14(1939)年8月三溪園内白雲邸にて死去。

原三溪は日本の近代化に大きな足跡を残した岐阜県出身の実業家です。企業の要職を務めるかたわら、美術品を収集し、芸術家を支援しました。

また、所有する日本庭園「三溪園」を市民に公開するなど公益活動を行っています。

1923年の関東大震災時には横浜の復興に尽くしました。

【問合わせ】

岐阜県図書館 郷土・地図情報係 / 岐阜県郷土資料研究協議会事務局

〒500-8368 岐阜市宇佐4-2-1 ☎058-275-5111 (内線320)

【アクセス】

JR西岐阜駅より徒歩14分or西ぎふ・くるくるバス利用

名鉄岐阜駅・JR岐阜駅より岐阜バス利用「鏡島市橋線」『市橋行』乗車、『県美術館』下車
自家用車(県美術館と共用駐車場)